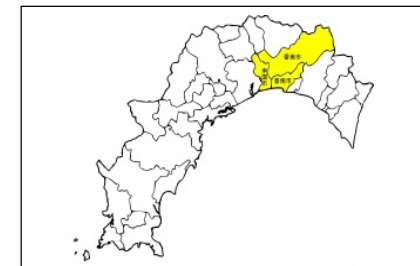


1 モデル事業対象地域の現況

消防本部	人口（人）	面積（km ² ）	地域の特徴
香南市	33,368	126.46	3市は、高知県のほぼ中央部東側に位置している。 ○香南市、南国市 太平洋に面しており、平野部及び山間部が混在している地域。
香美市	26,319	538.00	
南国市	47,524	125.30	
計	107,211	789.76	○香美市 9割が森林で急峻な高峰が多く、棚田及び集落が広範囲に点在。



2 現状・課題、モデル事業の内容

現状・課題	モデル事業の内容
<p>○ 消防指令センターの共同運用、総務業務、予防業務の事務処理共同化に向けて、協議検討を実施しているが、次に掲げる事項が課題となっている。</p> <p>〈共通〉 1. 運用方法及び配置人員 2. 行財政効果の試算、負担金割合の調整</p> <p>〈指令〉 3. 出動体制の確立（消防団含む。）</p> <p>〈総務・予防〉 4. 条例、規則等の整合性</p>	<p>〈消防指令センターの共同運用〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進事例調査による効果の分析 ・既設施設の改修又は新設の場合の比較（コスト削減効果）等 <p>〈総務業務、予防業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同処理可能な総務業務の抽出、共同処理の方式、メリット及び課題等 <p>○事業期間：令和2年7月～令和3年2月 ○事業費：3,000千円</p>

3 成果及び今後の展望

成果（調査によって得られた結果）		
消防指令センターの共同運用	総務業務の共同処理	予防業務の共同処理
<p>① 財政上のメリット 単独整備（16.6億円）よりも共同整備（10.1億円）の方が6.5億円の削減効果が見込まれる。</p> <p>② 人員上のメリット 現行、消防指令業務に従事する職員の大半が兼務であるため、業務集約による人員の効率化までは見込めないが、兼務解消により、消防隊の能力強化等が期待できる。</p> <p>③ 消防通信指令業務の強化 119番通報の受信、処理能力の向上、部隊運用の高度化等により、消防通信指令業務の強化につながる。</p>	<p>① 共同処理を検討した事務 会議事務、競売事務、職員研修事務、団員講習事務、消防学校・大学校入校事務、契約事務</p> <p>② 検討結果 ①の事務を共同処理しても行財政上の効果が得られることは殆どないが、契約事務については一括購入による単価の減額により、財政上の効果が見込める。しかし、これは消防の連携・協力の枠組みを用いる必要はなく、現行体制で実施可能である。</p>	<p>① 共同処理を検討した事務 立入検査、火災予防広報、防火管理、消防用設備等の点検及び報告、消防同意、危険物規制、火災原因調査 ※協議会方式で処理することを前提とする。</p> <p>② 検討結果 ①のうち、法令等に基づく権限行使を伴う事務（下線の事務）は、条例、規則その他規程の違い、また、身分が異なるといった課題があるため、協議会方式での処理は困難だが、その他の事務については、処理可能。 しかし、下線の事務についても、他市職員は「支援者」とする等必要な措置を講ずることで解決できると考えられる。</p>

今後の展望

本モデル事業での結果を参考とし、関係者に説明を行い、共同運用に向けた具体的な検討を進める。
※総務業務の共同処理については、継続研究



3市及び県と緊密に連携し、共同運用の検討を進めることにより、**令和7年4月までに消防指令センターの共同運用開始及び予防業務の共同処理の実現を目指す。**

【連絡先】香南市消防本部 0887-55-4141

※予防業務は、共同処理可能なものから。